

会議録

会議名	平成28年度 第1回善通寺市総合計画審議会
開催日時	平成29年3月16日(木) 10:00~11:30
開催場所	善通寺市役所 3階 大会議室
出席者	(出席委員) 村上会長、末吉副会長、安藤委員、松村委員、香川委員、大鹿委員、山根委員、 大林委員、川西委員、田中委員、西山委員、森川委員、塩田委員 (欠席委員) 丸岡委員、大平委員
議題	第5次善通寺市総合計画の進行管理について
事務局	総務部長、政策課長、政策課職員(3名) 総務課、社会福祉課、高齢者課、農林課、教育総務課、生涯学習課
傍聴者	なし
発言者	議事の概要及び発言の要旨
事務局	新委員の紹介 大林委員、川西委員、山根委員、丸岡委員、大平委員
総務部長	挨拶
会長	挨拶
事務局	欠席者の報告、審議会成立の宣言
事務局	第5次善通寺市総合計画進行管理表、実施計画について説明
A委員	実施計画の3頁にパブリックコメント、ワークショップの積極的な実施とあるが、 ワークショップの具体的な過去の事例を教えて欲しい。 また、19頁の躰と教育、人を育てるまちづくりの教職員指導力向上事業について、 具体的に教えて欲しい。 また、その下の標準学力検査は、市販のテストを使用しているのか。 また、進行管理表の成果指標の実績において、数字は下がっているのが、矢印は上 がっているのは何故か。(例えば高齢者支援体制の満足度など)
事務局	成果指標の矢印については、目標としてどう考えているかを矢印の向きで表現して おり、例えば矢印が上向きの場合は数値が上昇することを目標としていることを表し ている。また、27年度の数値は、アンケートの結果などの実績値であるため、目標 は上昇としているが、結果として下降してしまったものである。 なお、矢印には上向き、横向き、下向きの3方向がある。
A委員	目標に達していないものについて、PCDAなどは個々にあるのか。

発言者	議事の概要及び発言の要旨
事務局	実績を踏まえた対策は示していないので、今後検討する。
教育総務課	<p>教職員指導力向上事業については、若年層の教員を対象に28年度から研修会を行っており、講師は教員を退職した経験豊富な方や、香川大学の教授などである。</p> <p>また、小学生基礎学力定着事業については、本市独自の標準学力検査を、民間の教材を用いて行っている。その結果を、国や県で実施する学力検査の結果とあわせて、個々の指導に活用している。</p>
A委員	県教委との関係と、普段のテストと標準学力検査の違いは。
B委員	標準学力検査は、見方や考え方がどれだけ定着しているかを見ることができ、どここの分野が不得意かが良く分かる。国や県は特定の学年だけ実施するが、本市は対象学年を増やして実施しており成果も見えてきている。
C委員	小学校は英語導入なども控えて忙しいなか、非常勤講師を導入するなど、教育委員会でサポートを考えて欲しい。
B委員	市雇用の講師は、他市と比較して多い。地元大学生の協力による小学生に対する指導の援助も行っている。
事務局	ワークショップについて、中心市街地活性化計画、総合計画、都市計画マスタープランなどの策定時には開催している。最近では、中小企業振興基本条例の制定について、商工会議所の協力も得ながら開催している。
C委員	民間住宅リフォーム支援について、業者は市内に限られるが、それら業者の業務内容のチェックは市とは離れ、個人の責任となるのか。
事務局	目的としては、市内のリフォーム業者と商店などの中小企業の活性化であるので、このような条件としており、市内にも多くの業者がいるのでご理解いただきたい。仕上がりの検査までは行っていない。
D委員	進行管理表の中の、成果指標の目標を達成できていないことの原因分析は行っているか。また、行っている場合にどう考えているか聞きたい。
事務局	事業の担当課において原因分析は行っているが、内容の記載は出来ていない。今後そのような場合に、わかる部分は記載していきたい。
E委員	<p>観光PRについて、最近地方自治体のPR動画が注目されているが、本市でも検討してはどうか。</p> <p>また、交通安全について、高齢者の交通事故が社会問題となっており、県警も警察官のOBが75歳以上の方々を戸別訪問して交通指導を行う事業を考えており、自治会に相談があったため、市に対象者の名簿が出せないか相談したが、個人情報であるため難しいとの回答であった。良い方法は無いのか。</p>

発言者	議事の概要及び発言の要旨
事務局	<p>市のPR動画は、最近作成したところであり、そのパンフレットを配付します。 また、観光PR動画は、吉本興業と提携して撮影を終えており、沖縄のイベントに出展中である。</p>
事務局	<p>高齢者の交通安全については、大きな問題と考えているが、対象者の名簿の提供は個人情報の観点から困難であるため、自治会などを通じて周知するなどにより対応をお願いしたい。 また、高齢等の理由から、免許を返納した方へのタクシー券の配付も始めており、活用していただきたい。</p>
会長	<p>審議については以上とする。その他何かありますか。</p>
事務局	<p>現在、本市では公共施設等総合管理計画を策定中であり、パブリックコメントも行っているため、その案について説明します。 また、A委員より、関連資料の提供がありましたので、紹介していただきます。</p>
総務課	<p>公共施設等総合管理計画（案）について説明</p>
A委員	<p>人口が減少し、限られた財政の中で老朽化する公共施設を維持していくのは大変であるため、施設を35%削減していきましょうという内容となっている。 総合計画があって、公共施設等総合管理計画があるという位置づけだと考えるが、市の公共施設を3分の1削減するということは、総合計画の中にどのように入ってくるのか。 計画を具体化するにあたり、市民のコンセンサスを得ることが大事である。 地域でワークショップを開催しながら地域の計画を作っていく。 廃校を検討するにあたり、地域の方とのワークショップを行い、あるべき姿を具体的に考えていく。 施設の再配置計画の視点として、将来を見据えた施設配置、市民の力・地域の力による再配置、多機能化の推進、多額の費用への理解、計画的に進める。 そのような視点を、計画に加えてはどうか。</p>
事務局	<p>住民の方々の意見は大切であると認識している。 これまでの計画策定において、各地区において意見を聞いたうえで作成した例もある。 この計画についても、次の段階に移る時に、市民の参画により意見を聞き、本委員会でもご紹介しながら進めていきたいと思う。</p>
C委員	<p>最近ある研究者が出した人口の増減予測のデータで、中讃地域が増える可能性があるとしており貴重な土地柄であると考えられる。 30年間に渡る長期計画の中で、南海トラフについても重要な問題であるが、この計画とは別な問題として設定しているのか。</p>

発言者	議事の概要及び発言の要旨
事務局	<p>本市の施設は老朽化が進んでおり、それらを総合的に考慮して、30年間の施設の削減計画となっていると考えている。</p> <p>総合計画との整合性についても、本審議会でも審議のうえ、近づけていきたい。</p> <p>人口減少については、災害が比較的少なく住みやすいところをPRして、移住定住促進につなげていきたい。</p>
A委員	<p>市営住宅では旧耐震の建物が多くあるので、早急に取り組まなければならないなど、基本的なところは計画の中に取り込んでおく必要があるのではないかと。</p>
事務局	<p>公共施設の耐震化については、着実に進めていかなければならない問題であり、学校の耐震化は完了しており、市営住宅等についても、耐震診断、耐震補強等の対策は順次行っていくことが原則であると考えている。</p>
A委員	<p>多くある施設において、優先順位の付け方はどうなっているか。</p>
事務局	<p>耐震対策については、教育関係施設を優先して取り組み完了した。</p> <p>次に市庁舎の整備に着手し始めたが、市民会館についても同時に計画を進めることとしている。</p> <p>優先度としては、まずは教育施設、次に防災上の拠点となる消防庁舎、市役所本庁舎、同時に市民会館、図書館、公共住宅というような考え方で進めている。</p>
会長	<p>本審議会においては、総合計画の項目を実施するにあたっての、実施計画においては、社会情勢や経済情勢等の変化によって、柔軟に見直していかなければいけないと思う。</p> <p>ただし、それから外れる問題については、慎重に取り組んでいかなければならないと考えており、総合計画と別の計画もあってしかるべきではないかと感じている。</p> <p>先程、耐震化という話もあったが、万が一の時に、市民が不利益を被るようなことについては、早急に対処していく必要があると思う。</p> <p>この件に関しては、本審議会において、その議論は出来るが、結論を出すことは難しいと思う。</p> <p>パブリックコメントや、ワークショップなどで、広く意見を聞いたうえでの行政判断に期待し、お願いするべきであると感じている。</p>
会長	<p>以上で会議を閉会する。</p>